

令和7年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名(指宿市)

<p>事業名</p>	<p>令和7年度指宿を自慢できる子どもづくり事業 「指宿の魅力を再発見！鰻地区でスメ体験」</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和7年11月3日(月・祝) (令和7年11月1日～11月30日)</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>全ての児童生徒に子どもの頃から本市の魅力を体感できる活動に参加してもらうことで、将来的に本市を自慢することのできる成人の育成、そして保護者・育成者もこれに帯同してもらうことで本市の素晴らしさを保護者・育成者が認知し、子どもと共感してもらうことを目指す。 併せて、本市の社会教育にかかわる者へ活躍の場を与えることにより、指導者としての資質向上を図るとともに、社会教育関係団体の連携強化、それぞれの団体活動内容の周知、活性化を図る。</p>		
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生:22名 ・中学生:6名 ・高校生:6名 ・保護者+未就学児:9名 ・スタッフ:34名 <p style="text-align: right;">計77名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>指宿市内の小学生～高校生及びその保護者を対象に、本市の魅力を体感できる活動として、山川の鰻地区において温泉の蒸気を利用した天然のかまど「スメ」でのかるかん作りや、オリジナルうなぎマップの作成、スメで蒸した卵の殻を利用したアート作品の作成を行った。 事前に鰻地区についての研修会を実施して当日を迎えたが、初めて鰻地区を訪れるという参加者も多く、地熱で熱くなっている電柱やスメを実際に見ることで温泉の恵を体感して驚いている様子が多く見受けられた。 地域資源を活用した体験活動を行い、参加者にとって地域が持つ魅力の発見や再認識につながる事業となった。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑オリジナルうなぎマップ作成の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑鰻地区での集合写真</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>↑たまごのカラアートの作品発表</p> </div>		

令和7年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名(**南さつま市**)

事業名	第29回サイクルシティ南さつま小学生一輪車大会inかごしま	実施時期	令和7年11月15日(土) (令和7年11月1日~11月30日)
趣旨又は目的	<p>南さつま市は、自転車の活用を通じて「健康で人と自然にやさしいまちづくり」を目指している。</p> <p>そこで、県内の小学校において授業や課外活動で取り入れている一輪車を通して互いの技能を競うとともに、県内の児童とのふれあいと感動の場とするため、本大会を実施する。</p> <p>また、「自転車のまち、南さつま市」をPRするため、九州各県の小学生や一輪車クラブ等にも呼びかけ、一輪車の技術向上と各県児童の交流を図ることを目的に本大会を実施する。</p>		
参加者	<p>参加資格: 小学生1年生から6年生までの男女(九州5県の12団体146人)</p> <p>大会当日: 南さつま市内から60人 県内から0人 県外から86人</p> <p>(1) レース部門に106人</p> <p>(2) 演技部門に107人</p>		
活動概要	<p>(1) 開会式</p> <p>(2) レース部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50メートルスプリント(低学年限定) ・70メートルスプリント(中学年限定) ・100メートルスプリント(高学年限定) ・30メートル片足走行(全学年対象) ・4×100メートルリレー(タイムレース方式)全学年対象 <p>(3) 演技部門</p> <p>(4) 表彰式</p>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【低学年】(50メートルスプリント)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【中学年】(70メートルスプリント)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【高学年】(4×100メートルリレー)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【演技部門】(益山ヤンキース)</p> </div> </div>		

令和7年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名(南九州市)

事業名	南九州市青少年問題協議会	実施時期	令和7年10月31日 (令和7年11月1日～11月30日)
趣旨又は目的	<p>青少年の健全育成に関する総合的な施策の樹立について必要な事項の調査審議及び適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ることを目的とする。</p>		
参加者	20人(委員14人, 事務局5人)		
活動概要	<p>会議は、令和6年度の本協議会における意見のまとめ及び市校外生活指導連絡会の取組、本市の不登校・いじめ問題の状況等並びに本市の児童虐待の現状と課題について市担当者から、また、県及び本市の青少年の非行状況等について南九州警察署から報告などを行った。</p> <p>その後、「インターネット等の利用に係る被害から子どもを守るための対策について」協議に入り、委員からSNSのトラブルが多く、暴言や不適切な画像の掲載も見られ、学校も児童・保護者に情報教育を行っているが、保護者がスマホなどを管理していることが大切との意見などが出た。</p> <p>青少年問題協議会では、委員からの意見などを踏まえ、子どもをネットトラブルから守るためにネットトラブル防止のリーフレットを作成し、小中学校の保護者に配布した。</p>		
活動写真 [説明]	<div data-bbox="627 1400 1069 1693" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="564 1706 1107 1762" data-label="Caption"> <p>青少年に関する諸問題を協議する委員</p> </div>		

令和7年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名(枕崎市)

事業名	学校伝統文化継承事業（別府地区）	実施時期	11月5日 (令和7年11月1日～11月30日)
趣旨又は目的	<p>学校伝統文化継承事業は、郷土芸能を核とした伝統文化の後継者育成を目的に、保存会と地域の学校が協働して伝承活動を展開する取り組みです。保存会の蓄積された技術や知見を活かし、授業時間外も含めて伝承の機会を設けることで、地域文化の継承と振興を同時に進めます。地域の財産である伝統文化を次の世代へ確実につなぐため、学校教育と地域人材の協働による実践的な学びを提供することを目指します。</p>		
参加者	<p>毎年度、小学6年生の児童を中心に参加します。6年生は卒業前の学年として、後継者育成の機会を確保しています。事業開始前には保存会の方々が年数回学校を訪問し、伝承技法の基礎や背景の説明を行い、児童が学校教育と地域の伝統文化活動を結びつけられるよう準備します。</p>		
活動概要	<p>保存会は学校へ出向き、伝承活動を実施します。具体的には、郷土芸能の実演と指導、伝承技術の実習、関連する道具や衣装の解説、児童は演練や体験を通じて伝統の意味と価値を実感します。学年を超えた継続的な学習計画として位置づけ、定期的な評価を通じて理解と技能の定着を図ります。</p>		
活動写真 [説明]			